

医の倫理学

授業概要

生と死に関わる倫理的問題、医療と医学研究における倫理の重要性、医療・福祉における安全性、保健医療従事者と利用者間における援助関係などについて学ばせる。

担当教員

竹下治男（主担当）	教授・法医学
堀口 淳	教授・精神医学
稲垣卓司	教授・教育学部（心理・発達臨床講座）
長田京子	教授・基礎看護学（看護学科）

授業の形式

オムニバス形式を基本とする。

教育内容

1. 倫理面への配慮は、医療における患者の生物－心理－社会的側面の上に重要な事柄として位置付けられている。そこで本講では、患者の人権、尊厳への配慮、法精神医学等について講義し、習得させる。
2. 緩和医療における目的を医の倫理について学習させ、理解を深めさせる。
3. 保健医療従事者と利用者間における「援助者－被援助者関係」の観点から、対人援助関係の意義、目標、かかわり方について理解を深めさせるとともに、援助者としての倫理的態度を養う。
4. 精神医療の現状や問題点をふまえて、インフォームドコンセントや同意能力の問題について学習する。主として同意能力のない患者の治療についての人権配慮や倫理問題について理解を深める。

成績評価の方法

講義のテーマごとおよびレポートの評価による。

使用テキスト・参考文献

講義ごとに次回の参考文献を示す。